



11月の園だより

令和4年 11月 1日

目黒区立ひもんや保育園園長

金木犀の香りに秋の深まりを感じ、日が暮れるのも早くなりました。夕方テラスで遊ぶ2歳児クラスの子が空を見上げて「あ、もう夕方になっちゃった」と言っていました。夕暮れになって空の色が変わることや、その時間が以前より早くなっていることに気づいて“もう夕方”という表現になったのでしょうか。風の冷たさ、日の長さ、におい、さまざまなことから季節を感じる子どもたちです。秋にはどんぐりや落ち葉と自然物もたくさんあり、子どもたちの遊びに彩りを添えてくれます。制作ではイメージを膨らませ個性が光る作品を作り楽しみたいと思っています。

10月には運動会を3年ぶりに目黒区立第七中学校で行うことができました。大勢の保護者の皆様の前で堂々と演技を披露した幼児クラスの子どもたちです。日頃から練習する様子を互いに見合っていました。当日の様子を見合うことができ、5歳児クラスのリレーや縄跳びは年下のクラスの子に大きな刺激を与えたようです。縄跳びは小さい子どもたちの憧れとなり、運動会が終わってから練習する3、4歳児クラスの子どもたちがいます。その様子に“やってみたい”という意欲が感じられ、今後も楽しみながらいろいろなことに挑戦できる気持ちを大切にしていきたいと思っています。

行事予定



焼き芋会 (全園児)
歯科検診 (全園児)
身体計測 避難訓練



秋を楽しもう～乳児クラス～

つくし組(0歳児クラス)



つかまり立ちができるようになってから、なぐり描きを始めています。大きな画用紙の上でクレヨン動かすと点や線が描けるのが面白くて腕を大きく動かしながら繰り返し楽しんでいきます。保育士が茶色の画用紙で葉っぱを作り、その上に子どもたちがなぐり描きました。窓に貼ると「あ、あ」と声を出し、指さしてみています。

すずらん組(1歳児クラス)

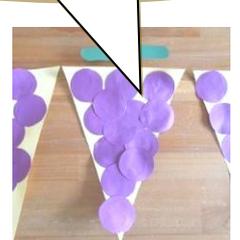
4,5歳児クラスが芋掘り遠足で拾ってきたどんぐりを使って、遊んでいます。どんぐりもままごとの具材に早変わりです。



どんぐりケーキの出来上がり

ちゅういっぴ組(2歳児クラス)

初めて糊を使って制作をしました。最初は糊の感触に戸惑っていた子もいましたが、徐々に慣れ、「ぐるぐる～」と言いながら紙の裏に糊をつけ、ペタっとたくさん貼り、おいしそうなブドウを作りました。



おいしいのができたよ

糊をぐるぐるつけたよ

運動会を終えて

たんぼぼ組 (3歳児クラス)

運動会後、ひまわり組やこすもす組のダンスの輪の中に入って一緒に踊って楽しんでいきます。中でもたんぼぼ組の一番の興味は大縄くぐりです。大縄を持ってきて「ぐるっと回して走り抜けるのやりたい」とリクエストされたので、保育士が大縄をまわし「今」「走る」等と声を掛けると、何度か縄を見送った後に意を決したように走り出します。無事に抜けられると「おおーっ」と保育士や友達の歓声が上がりにつこり誇らし気です。そんな友達の姿を見て他の子ども次々と挑戦しています。途中でこすもす組も参加すると、大縄跳びで10回連続跳びをするかっこいい姿を見せてくれました。すると「10回跳びたい」と言う子どもでできました。「やってみようか」と保育士が縄を回し、タイミングを合わせることで数回跳ぶことができました。大人と一緒に走ってくぐり抜けたり10回跳びたくて何度もチャレンジしたり、運動会が終わっても気分はまだまだ運動会真最中です。



こすもす組 (4歳児クラス)

「もっと運動会の踊りをしたい」「たくさん跳べるようになりたい」と、ダンスを踊ったり、大縄を跳んだりと挑戦が続いています。特にひまわり組への憧れの気持ちが膨らみ、ひまわり組の大縄跳びの真似をして、回している縄に入り跳んでから出ることにチャレンジをして「ひまわり組さんみたいに跳べたよ」と得意気な表情をしています。短縄も、両足跳び、駆け足跳び、後ろ跳びなどひまわり組が跳んでいる傍で一緒に跳んで刺激をもらっている子ども達です。また、園庭でクラス競技のダンスを踊って遊んでいると、乳児クラスの小さな子ども達が仲間入りしてくれました。すると「一緒に手をつなごう」「ここで手を挙げて、上を見るのね」等言いながら、嬉しそうにお手本となって教える姿も見られました。「次はソーラン節踊りたい」と、みんなと一緒に踊る楽しさを感じながら運動会の余韻を楽しんでいます。運動会を終えてまた一回り大きく成長した子ども達です。



ひまわり組 (5歳児クラス)

運動会の数日後、数人の子どもたちが「こすもす組さんがソーラン節教えてほしいって」と嬉しそうに話しています。翌日“運動会ごっこ”で一緒に踊る場を作ると、こすもす組の見本になり張り切って踊りだしました。堂々と踊り手本を見せる子ども達の姿から運動会を“やり遂げた”という気持ちが伝わってきました。こすもす組の子どもが真似て踊ってくれたことが嬉しくて「もっとやりたい。組体操でやった千手観音やろうよ」と子どもから声があがりました。こすもす組とひまわり組で4人組を作り、保育士が声をかけるよりも早く「順番に並ぶんだよ」「手はこう」等と、優しく声をかけ、手を添えて手の位置を知らせる声や姿があちらこちらで見られ、小さな保育士かなと思うほど頼もしく微笑ましい関わりの姿でした。

年下の子や、クラスの友達との関わりの中で、一緒に活動する楽しさを味わい、自信をつけています。今後も一人ひとりが自己発揮しながら友達と一緒に活動できるようにしていきたいと思います。

